

## 令和7年度 第1回 補野市中小企業等振興推進会議 議事録

日時 令和7年11月28日(金)

10:00~11:33

会場 市役所4階 401会議室(西側)

出席委員:12名(渡邊昌志、田口健一、渡辺正高、堀口綾子、中川智敏、荻島昭章、三宅大介、松林亨、小澤敏昭、富田稔、大嶋孝治、加藤豊)

欠席委員: 0名

<配布資料>

別添のとおり

<会議内容>

1. 開会

事務局

- ・今年度は改選期ではないが、補野市金融同盟会の代表変更、静岡県立補野高校の進路指導担当教諭の異動により新たに2名の委員を委嘱し、委嘱状を交付する。
- ・任期は来年9月までとなっている。

2. 自己紹介

3. 議事(報告事項)

(1)地域イノベーション戦略について

<概要>

目的:既存の産業政策を市役所内で一体的に進め、地域活性化を図ること

目標:市内総生産、交流人口、関係人口の向上を目指す

重点戦略:スタートアップの創出(新規事業創出)、地域事業者との事業拡大、企業誘致の幅の拡大(大企業からスタートアップまで)

基盤づくり:若者向けの人材育成やインフラ整備

連携:地域の課題解決のため、地域の事業者と連携する共創パートナー提案制度を設けている。最終的には金融機関とも協力し分野横断的な連携の枠組みを強化したい。

<質疑応答・意見>

A 委員

資料が横文字ばかりで、特に「アントレプレナーシップ」や「GX」など、検索しないと意味がわからない用語が多い。

B 委員

戦略が壮大である。

具体的な進捗状況はどうか、優先順位はあるのか。

事務局

観光、デジタル化、モビリティの分野で事業者と話を進めている。

(2)令和7年度の事業について

<概要>

○労働行政

- ・駿東勤労者福祉サービスセンター事業(ベネフィ駿東):福利厚生の充実、活用促進のため負担金拠出
- ・駿東地域職業能力開発協会事業(職業訓練センター):人材育成、能力開発のための支援として負担金拠出
- ・技能功労者等表彰事業:次世代への技術継承を目的に長く同一職業に従事し、本市における技術水準の向上に功績のあった者を表彰(今年度は1名表彰)
- ・勤労者教育資金援助事業:静岡県労働金庫が借入者に教育資金として貸付をした際に市が利子の一部を補給
- ・勤労者住宅建設促進事業:静岡県労働金庫が借入者に住宅建設資金として貸付をした際に市が利子の一部を補給
- ・就職相談会:シニア向け就職相談会をしづおかジョブステーション、シルバー人材センターと共同開催

○商工振興

- ・商工団体等補助事業:商工会実施の相談指導事業の活動経費、フェスタなどの運営費、すそのブランド推進委員会への補助金交付
- ・小口資金利子補給:市内小規模事業者の事業資金への融資に対する金融機関への利子補給金交付
- ・中小事業者への助成:特別政策、経営革新事業を行う事業所に利子補給または交付金を交付
- ・経済変動対策利子補給:県制度融資の経済変動対策貸付を利用して利子補給を受ける事業者に対し市が上乗せして利子補給を実施

- ・商店街美化灯電気料補助事業：商店街が実施する美化灯の事業費を補助
- ・商店街活性化対策事業：岩波交流イベント、富岡さくら祭り、富士山すその阿波おどりへの補助金交付

#### <質疑応答・意見>

A 委員

駅西整備の進捗により、商店街美化灯電気料補助事業（美化灯）が将来的に補助対象から外れる可能性があるため、将来的な事業の見直しを考慮すべきである。

#### 4. 議事（協議事項）

##### （1）（仮称）裾野市ビジネスまるごとワンストップ窓口の創設について

#### <概要>

背景と課題：過去3年間で市が把握している創業実績は1～2件と低迷しており、関係機関の役割分担が不明瞭であったことや情報共有が不十分であったことが課題として考えられる。

目的：創業希望者が相談から事業定着まで一貫して支援を受けられる体制を構築するため、機関の役割分担を明確化し、連携を密にする。

実証トライアル：令和8年2月を第1回目として、三島信用金庫裾野支店（令和8年1月19日オープン予定）の2階セミナールームを借りて実施予定。

連携機関：これまでの商工会、中小企業団体中央会に加え、新たに静岡県よろず支援拠点、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫とも連携を進める。

運営方法：相談は金融機関を含む専門家が一度に会し、90分程度で解決への筋道を立てる。その後は商工会等が具体的な実行支援を行う。

#### <質疑応答・意見>

A 委員

現状の「ワンストップ窓口」という表現は、市役所1階の窓口のように即時解決できる場ではないため、誤解を招きやすい。「ビジネス相談口」など、より分かりやすい表現にすべきではないか。

事務局

「ワンストップ窓口」という表現はこれまでの計画上にあったため踏襲。関係者がその場に集まる「ワンストップ」のイメージを持っていた。

### C 委員

商工会では経営指導員を中心に商工会窓口へ来訪された方へ創業や事業承継といった相談には対応してきた。今回はある程度固定化された窓口を設置して実証するとのことで、より良い対応をしていきたい。

### B 委員

市内での創業に限定するなど、制限するものがあるのか。

### 事務局

理想は市内での創業だが、事業浸透のため当面は入口を狭めずに実施し、需要殺到した場合には市内の相談者等に絞り込むことを検討する。

### D 委員

夜や土日でないと参加できない相談者もいると思うが、相談の時間帯はいつになるか。

### 事務局

2月、3月のトライアル段階では夜間や土日は想定していないが、利用者ニーズをもとに3月の振り返り会議で対応を検討する。

### E 委員

エントリーシートの相談内容の項目に、中央会の役割である「企業連携」(複数の企業による課題解決や共同事業)や「ソーシャルビジネス」に関する相談項目を追加してほしい。

### A 委員

エントリーシートの記入欄の順番(最初に事業所名や対面者名が来る点)について、創業検討者が「会社じゃないとダメなのか」と勘違いする可能性があるため、相談者名義を先にし、事業所名は任意とするなど、ハードルを下げてほしい。

### 事務局

改善する。

## (2)冊子「裾野市中小企業等振興施策」の改定について

### <概要>

令和 6 年 3 月に作成された政策冊子について、内容変更の確認や、新たなワンストップ窓口での活用を踏まえ、改訂を検討中。

目的：「(仮称)裾野市ビジネスまるごとワンストップ窓口」での相談対応時のフォローに役立っていく

## 事務局補足

冊子の充実を図るため、ワンストップ窓口で連携するようす支援拠点、信用保証協会、日本政策金融公庫等の支援策も追加で掲載したい。

## 5. 情報交換

出席委員および関係機関により、以下の情報交換を実施。

・C 委員：10/18(土)、19(日)開催の第 50 回フェスタすそのは2日間で延べ 10,500 名の来場があり、盛況であった。

・F 委員：高卒就職希望者 50 名は、売り手市場によりほとんどが内定をもらっている。高卒でも初任給 20 万円以上、年間休日 120 日という求人が増え、基準が上がってきている。生徒たちの情報収集方法はインターネットが主流であり、複数の企業の福利厚生等を比較しながら就職先を検討している。将来的には東部地域の学校統合に向けた生徒定員減など厳しい環境にある。

・G 委員：各企業で賃上げ(1~2万円程度)の動きがあるが、物価高騰により実質賃金は厳しい状況にある。

・H 委員：金融同盟会(7機関で構成)がコロナ禍を経て久々に開催され、連携協力体制を確認。三島信用金庫の新店舗(裾野支店・裾野東支店の統合)は 1 月 19 日に裾野駅西口でオープンし、タリーズコーヒーとのコラボ店舗となる。2 階のセミナールームはワンストップ窓口のトライアルに使用され、無料で貸し出し可能(土日利用は要事前相談)。

・E 委員：創立 70 周年。技能実習制度の変更(2027 年)に伴い、実習生目的の組合設立相談件数は減少傾向。同業者組合だけでなく、リスクヘッジや新事業展開(例：クラフトビール醸造所の連携)のための組合設立支援に注力している。

- ・I 委員：堀越副市長の指導による「堀越ゼミ」を開催中。単なるセミナーで終わらせず、観光体験プログラム等を検討し、2月には富士駿東地区の女性部メンバーを招いてテストマーケティングを実施予定。
- ・B 委員：11月22日に花火大会が終了。今年度の今後の大規模なイベントはないが、市観光のサポートを継続。道の駅の計画などの動向にも注視している。
- ・A 委員：回覧板で配布される資料については、回覧板で挟まれることを考慮し左側に余白を設け、右上に回覧の文字を入れるなど、読み手側目線での資料作成をしてほしい。商工会工業部会としてはフェスタすそのにて展示した昭和から平成にかけての写真や昭和レトロ用品を集めたフォトスポット等をまたどこかで展示してほしいという要望があった。4月以降であれば協力できる。
- ・D 委員：令和8年の就職相談会について、近隣地域（御殿場など）との開催日が重複しないようスケジュール調整をしてほしい。
- ・事務局回答：今年度は御殿場市、裾野市両者とも日程変更ができず同日となった。現在、沼津や近隣市町など東部エリアでの広域の就職相談会も検討している。

## 6. その他

- (1)裾野市就職相談会（令和8年3月7日（土）開催）について
  - ・昨年度から市単独で再開した就職相談会を令和8年3月7日に開催予定。
  - ・昨年度は40社参加、求職者198名が来場し、実施後のアンケートからは企業・求職者双方から良い評価を得た。
  - ・本年度は企業枠を50社に増やし募集しており、会議開催日時点で43社の応募があった。求職者の申し込みは12月5日から開始予定。
- (2)次回の会議について
  - ・次回の会議は、（仮称）ビジネスまるごとワンストップ窓口の実証結果を報告するため、令和8年3月中旬から下旬に開催を予定する。

## 7. 閉会